

平成30年7月19日

## 四国地域の経済動向（概要） （平成30年5月分）

～四国地域の経済は、緩やかながら持ち直しの動きがみられる～（→）  
（緩やかながら持ち直しの動きがみられる）

**生産（→）** 鉱工業生産は、緩やかな持ち直しの動きがみられる。（緩やかな持ち直しの動き）  
鉱工業生産指数は、前月比が3カ月ぶりの低下となった。

**個人消費（→）** 個人消費は、持ち直しの動きとなっている。（持ち直しの動き）  
百貨店・スーパー販売額（全店）は、7カ月ぶりに前年を下回った。  
コンビニエンスストア（全店）の販売額は、7カ月ぶりに前年を下回った。  
家電大型専門店販売額は、2カ月連続で前年を下回った。  
乗用車新車新規登録・届出台数は、2カ月ぶりに前年を下回った。

**住宅投資（→）** 新設住宅着工は、弱含みとなっている。（弱含み）  
新設住宅着工戸数は、2カ月連続で前年を下回った。

**倒産（→）** 企業倒産は、落ち着いた動きがみられる。（落ち着いた動き）  
倒産件数は6カ月ぶりに前年を下回り、負債総額は2カ月ぶりに前年を下回った。

**雇用（→）** 雇用情勢は、改善している。（改善している）  
有効求人倍率は2カ月ぶりに上昇し、一般新規求人数は2カ月ぶりに前年を上回った。

**公共工事（→）** 公共工事は、弱い動きがみられる。（弱い動き）  
公共工事請負金額は、2カ月ぶりに前年を下回った。

注意：（ ）内は基調判断の動き。→は据え置き、↗は上方修正、↘は下方修正を示す。（ ）内は前月の基調判断を記載している。

### 【四国の経済指標】

平成30年5月

	四 国		全 国			
	前月比 (%)	前年同月比 (%)	前月比 (%)	前年同月比 (%)		
鉱工業生産指数 (平成22年=100、季節調整済 前年同月比は原指数)	93.2	▲ 8.8	2.2	104.4	▲ 0.2	4.2
鉱工業出荷指数 (〃)	90.1	▲ 5.0	4.1	101.4	▲ 1.6	3.2
鉱工業在庫指数 (〃)	103.4	▲ 2.4	3.8	113.5	0.6	2.5
百貨店・スーパー販売額 (単位：億円) (全店)	410	▲ 1.5	15,664	▲ 1.4		
		▲ 3.1		▲ 2.0		
乗用車新車新規登録 (単位：台)	9,424	▲ 0.4	307,714	▲ 1.5		
・届出台数						
新設住宅着工戸数 (単位：戸)	1,663	▲ 4.3	79,539	1.3		
輸出通関額 (単位：億円)	637	▲ 14.1	63,236	8.1		
輸入通関額 (単位：億円)	1,331	26.7	69,040	14.0		
企業倒産件数 (単位：件)	11	▲ 45.00	767	▲ 4.36		
有効求人倍率 (季節調整済)	1.54 (前月差)	0.01	1.60 (前月差)	0.01		
公共工事請負金額 (単位：億円)	350	▲ 2.7	12,857	3.5		

(本発表資料のお問い合わせ先)

四国経済産業局総務企画部調査課長 岡上

担当者：岡崎、矢野

電話：087-811-8509 (直通)

URL：<http://www.shikoku.meti.go.jp/>

※前月比、前年同月比は、増減率を示す。

## 管内経済指標の推移

